

鳴沢小学校の地域連携・地域交流

鳴沢村立鳴沢小学校

<ポプラっ子まつりでの高齢者との交流>

1. 目的：児童会行事（ポプラっ子まつり）として、異学年や高齢者・保護者との交流を深め、児童が主体となって縦割り班ごとに出店を企画・運営する。
2. 内容：出店の一つとして、「お達者クラブ」のお年寄りから遊び（お手玉・こま・あやとり・めんこ・けん玉など）を教えていただきながら、児童と村内のおじいちゃんおばあちゃん、保護者とで交流を深める。
3. 成果と課題：近くに住んでいるお年寄りであっても一緒に関わる機会が少なくなっているため、児童と高齢者、保護者が交流するよい時間となった。また、敬老の日には地域行事として、児童が書いたお手紙を渡して地域のお年寄りとの交流もした。お年寄りからの返信が数通あり、児童も喜んでいました。



<高齢者とのグランドゴルフの交流>

1. 目的：クラブ活動で、村のグランドゴルフクラブの方々と交流をする。
2. 内容：クラブの時間に、屋外ボールゲームクラブの児童が村のグランドゴルフクラブの方々から、打ち方のコツなどを教えてもらったり、一緒にゲームを楽しんだりする。
3. 成果と課題：雨で延期となってしまったが、2学期に実施することができてよかった。グランドゴルフクラブの方々からの指導を真剣に聞く児童の様子が見られ、一生懸命に楽しく取り組んでいた。グランドゴルフクラブの方々も丁寧に対応してくださり、児童と交流することを楽しんでいる様子が見られた。



<県立ふじざくら支援学校との交流会>

1. 目的：ふじざくら支援学校の児童と直接交流し、児童相互のふれあいを通して、相手の立場や気持ちを考える。
2. 内容：鳴沢小学校児童がふじざくら支援学校に行ったり、ふじざくら支援学校の児童が鳴沢小に来たりしながら、学年ごとに年2回の交流をする。一緒にゲームを楽しんだり、歌や踊りの発表を見せ合ったりする。また、学校で取り組んだ作品の掲示をしたり、メッセージカードの交換をしたりする。
3. 成果と課題：毎年交流を継続実施しているため、児童同士が親しい関係性になり、お互いを名前呼び合ったりもしていた。本年度は、一度感染症予防のために、直接交流が実施できない学年もあったが、手紙等の方法で交流を続けることができた。交流を継続して体験することにより、社会性を育て豊かな人間性を養う貴重な機会となっている。